



小さな一歩から始める企業のデジタル変革 ～SNSから始まる徳島の中小企業DX支援の現場から～



吉村 健太

徳島県よろず支援拠点
コーディネーター（DX化・人手不足対応担当）

II はじめに

徳島県よろず支援拠点でコーディネーターを務めております。月2日、半日ずつ4日の勤務で、主に県内中小企業のDX化支援と人手不足対応を担当しており、様々な業種の経営者や従業員の皆様とお話しする機会をいただいている。最近では、生成AIを活用したDX化支援にも力を入れています。

「DX」と聞くと、多くの方が最新のAIシステムや高度なデジタル技術を想像されるかもしれません。しかし、実際の相談現場で最も多いのは「SNSの使い方がわからない」「ホームページをどう活用すればいいか」といった、一見基本的に思える内容です。一方で、最近は「AIって何ができるの?」「ChatGPTは仕事に使えるの?」といった生成AIに関する相談も急速に増えています。これらの相談こそが、実は企業のデジタル変革の第一歩なのです。

II 現場で見える中小企業の現状

徳島県内の中小企業を訪問していると、多くの企業が共通する課題を抱えていることがわかります。

II 人手不足の深刻化

最も深刻なのは慢性的な人手不足です。特に製造業や建設業、サービス業では、熟練技術者の高齢化と新規採用の困難さが同時進行しています。「求人を出しても応募がない」「若い人が定着しない」という声を毎日のように耳にします。

II 情報発信への苦手意識

多くの企業が「うちの会社にはPRするものがない」と謙遜されますが、実際に話を聞くと、優れた技術や製品、サービスを持っています。問題は、それを外部に伝える手段や方法がわからないことです。

II デジタルツールやAIへの不安

「難しそう」「費用がかかりそう」「時間がない」という理由で、デジタル化やAI活用に踏み切れない企業も少なくありません。特に「AIは危険」「仕事を奪われる」といった漠然とした不安を持つ方も多いいらっしゃいます。しかし、適切な支援があれば、多くの企業がデジタルツールや生成AIを効果的に活用できることも経験から分かっています。

II SNSから始まる小さな変革

私が支援する際に必ず伝えるのは「まずは小さく始める」

ことの重要性です。

II Instagram活用のメリット

飲食店であれば、日替わりメニューや季節の食材を写真付きで投稿することで、視覚的に魅力を伝えることができます。製造業でも、製品の製造過程や完成品の美しさをアピールすることで、技術力や品質の高さを印象付けることが可能です。

II Facebook活用の効果

地域密着型の企業では、地元のイベント参加や社会貢献活動の様子を投稿することで、企業の人柄や地域への思いを伝えることができます。また、スタッフの日常的な業務風景を紹介することで、働く環境の良さをアピールし、求人効果も期待できます。

II デジタル化による業務効率改善

デジタル化は人手不足の解決策としても有効です。

II 業務プロセスの見直し

紙ベースの業務をデジタル化することで、作業時間の短縮や人的ミスの削減が期待できます。例えば、手書きの伝票をタブレット入力に変更したり、承認フローを電子化することで、業務の流れがスムーズになります。

II コミュニケーションツールの活用

社内外のコミュニケーションにチャットツールやビデオ会議を活用することで、移動時間の削減や情報共有の迅速化が図れます。特に複数の現場を持つ企業では、大幅な効率向上が期待できます。

II 生成AIがもたらす新たな可能性

最近注目している分野が、生成AI（ChatGPTなど）を活用したDX化支援です。多くの企業で実用的に活用できる可能性があります。

II 文書作成業務の効率化

提案書や報告書、メールの下書きなど、定型的な文書作成にAIを活用することで、大幅な時間短縮が可能です。特に、同じようなパターンの文書を頻繁に作成する企業では、業務効率が飛躍的に向上します。

II アイデア創出とブレインストーミング

新商品のアイデア出し、マーケティング戦略の検討、問題解決のアプローチなど、創造的な業務でもAIは強力なパートナーになります。人間の発想を補完し、新たな視点を提供してくれます。

II 多言語対応とグローバル展開

翻訳機能を活用することで、海外顧客との対応や外国人従業員とのコミュニケーションが格段にスムーズになります。これまで言語の壁で諦めていたビジネス機会を広げることも可能です。

II データ分析と意思決定支援

売上データや顧客情報の分析、トレンド予測など、経営判断に必要な情報をAIが整理・分析してくれます。専門的な統計知識がなくても、データに基づいた意思決定ができるようになります。

II 支援現場で大切にしていること

中小企業のDX支援で私が最も重視しているのは、経営者と従業員の皆様の「気持ち」に寄り添うことです。

II 小さな成功体験の積み重ね

いきなり大きな変革を目指すのではなく、「今日から始める小さなこと」を提案しています。SNSで1日1投稿を続ける、メールの整理方法を見直す、ChatGPTで簡単な文書作成を試してみる、といった身近なところから始めることで、「デジタルって意外と簡単」「AIって便利」という実感を持っていただけます。

II 繼続的な伴走支援

一度の相談で終わらず、実際に取り組みを始めた後も定期的にフォローアップを行っています。「うまくいかない」「思ったような効果が出ない」というときこそ、寄り添う支援が重要なと考えています。

II 徳島だからこそ強み

徳島県には、DX化を進める上で大きなアドバンテージがあります。

II 顔の見える関係性

県内の企業同士、支援機関同士のつながりが強く、成功事例を横展開しやすい環境があります。SNSやデジタルツールで成果を上げた企業の取り組みが自然に広がり、新たな挑戦のきっかけになることもあります。

II 地域密着のニーズ

地元に根ざした企業だからこそ、地域の人々に愛される情報発信ができます。全国区の大企業にはない、温かみのあるコミュニケーションが可能です。

II これからのビジョン

私たち徳島県よろず支援拠点では、今後も県内中小企業の

DX化と人手不足対応に全力で取り組んでまいります。特に、生成AIの普及に伴い、より身近で実用的な支援を提供していきます。

II AI活用人材育成への取り組み

企業内でデジタルツールやAIを使いこなせる人材を育成するための研修プログラムを充実させていきます。外部に頼るだけでなく、企業内部にDX化とAI活用を推進できる人材を育てることが持続的な成長につながると考えています。

II 業界を超えた連携促進

異なる業界の企業同士が連携することで、新たなビジネス機会を創出できる可能性があります。製造業の技術とIT企業のノウハウ、さらにAIの活用を組み合わせた新サービス開発など、業界横断的な取り組みを支援していきます。

II 経営者の皆様へのメッセージ

DXやAI活用は決して大企業だけのものではありません。むしろ、小回りの利く中小企業の方が、柔軟にデジタル技術やAIを取り入れることができる場合が多いのです。

「うちには関係ない」と思わず、まずは身近なところから始めてみてください。SNSでの情報発信、メールの効率的な使い方、オンライン会議の活用、そして生成AIを使った文書作成など、今すぐにでも始められるることはたくさんあります。

私たち徳島県よろず支援拠点は、皆様のパートナーとして、一緒に歩んでまいります。お困りのことございましたら、お気軽にご相談ください。小さな疑問から大きな戦略まで、どんなご相談でも歓迎いたします。

徳島の中小企業の皆様が、デジタル化という新しい風を追い風に、さらなる発展を遂げられることを心より願っております。

著者略歴：吉村 健太（よしむら・けんた）

シャハラ株式会社 代表取締役
一般社団法人 ITコーディネータ徳島 代表理事
ITコーディネータ

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町5番8-8
徳島経済産業会館2階
HP <https://yorozu-tokushima.go.jp/>

よろずにゴー

電話 088-676-4625



受付時間

【平日】9:00～17:45

【休日相談会】

●第1・第3土曜日 10:15～17:00 徳島市産業支援交流センター
(アミコビル9F)

●毎週日曜日 10:00～17:00 徳島駅前ポップ街

(最新情報を確認して下さい)

価格転嫁等に関する経営相談窓口を設置しております。
相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。